

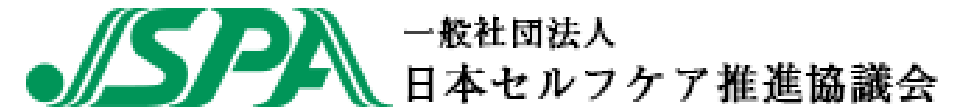
一般社団法人 日本セルフケア推進協議会 特別シンポジウム  
「日本セルフケア推進協議会の歩み、そしてこれから…」

日本から世界へ、



Medical Excellence JAPANとの連携

～共感から連携へ、生活者中心、患者中心、そしてUHC～



国際連携部 岸 智明

# 日本セルフケア推進協議会（JSPA） 国際連携部会 活動

## 日本型セルフケアのアジア太平洋地域への普及

### 1）広報宣伝活動

- JSPAの理念、活動内容等を広く国内外に周知を促し、事業展開しやすい環境を整備する

### 2）海外事業基盤の構築・整備・強化

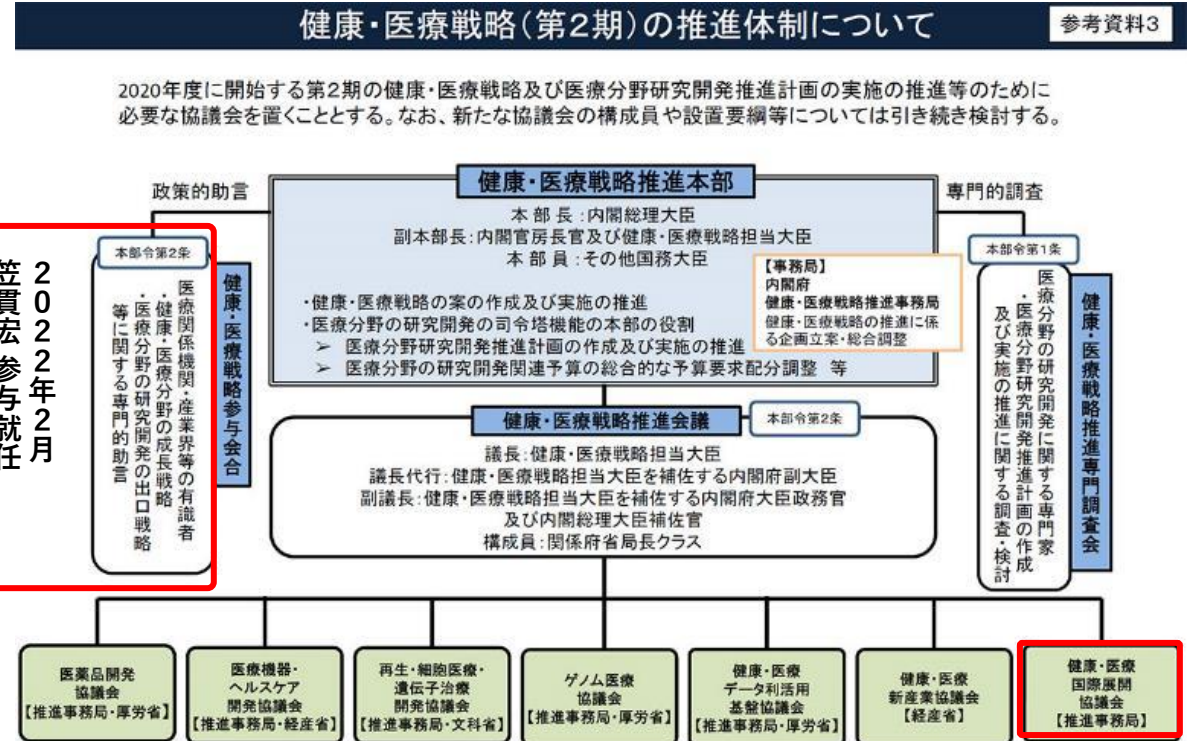
- ネットワーキング、人脈形成（国内外の関連行政監督官庁・関連団体・アカデミア等）、各国のセルフケア関連ステークホルダーの洗い出し、連携の探索、各種提言準備  
（検証、社会実装、事業への転換）

### 3）セルフケア関連情報収集・分析

- セルフケア関連の最新の業界動向・情報等の収集（各国の健康医療政策、WHO等）、分析、対策検討、発信、支援など



- 一般社団法人Medical Excellence JAPAN (MEJ) は、日本の成長戦略の柱の一つ、**健康・医療の国際展開の推進**という政府の方針の下、これを実践する**中核的な組織**として、2011年に設立。2013年に日本政府の成長戦略に基づいて新生MEJとして改組
- 日本政府の**健康・医療国際展開協議会【推進事務局】**の一員として、関係省庁と連携して医療の国際展開を促進



- 日本政府の「日本再興戦略2013」及び「健康・医療戦略」、2014年以降の改訂版、2020年「健康・医療戦略」の閣議決定において、**医療の国際展開を担う中核機関**として明記
- 政府、医療界、医学会をはじめとする各アカデミー、医療産業界等と相互協力のもと国際医療協力を推進し、必要な事業展開の**「プラットフォーム」**を提供





◆相手国の健康・医療の改善、経済成長市場の創出 ◆日本のプレゼンス・信頼の向上、日本経済の成長

# 出会い、共感からの連携

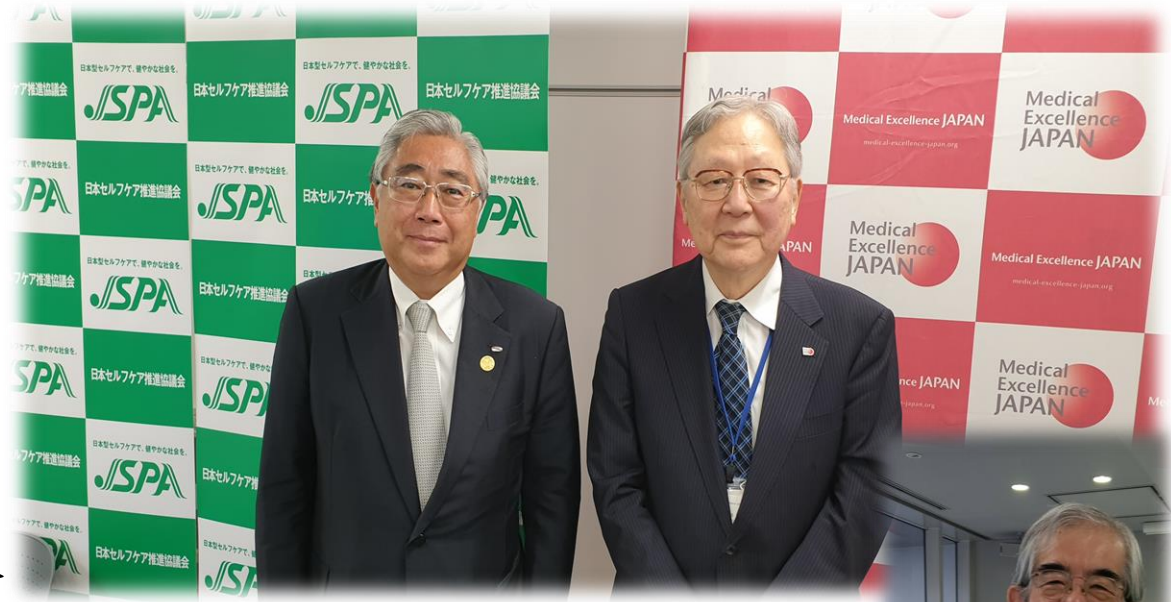
JSPA三輪会長とMEJ前理事長の故近藤達也先生の出会いからすべてが始まりました。

そして両氏が共感したものが、三輪会長が提唱する「生活者中心のセルフケア」と近藤先生の「患者中心の合理的医療」であり

ました。そして日本WHO協会理事長でありJSPAの国際連携部会責任理事でもある中村安秀先生の「ユニバーサル・ヘルス・カヴァレッジ」が

そこに加わり三者による連携が具体化することになりました。2020年11月に開催された「グローバルヘルス合同大会 大阪」にてJSPAが共催セミナーを企画し、座長を中村先生とし、近藤先生より「世界が求める医療の国際展開」というご講演をいただきました。

JSPAは、同年に日本WHO協会ならびにMEJの正会員となりました。特にMEJの活動には積極的に参画し、近藤先生が強く推進していました「中期事業計画」の実践委員としてJSPAから3名が参加し、両団体の連携を強化しています。また三輪会長と笠貫現MEJ理事長との会談も実現し、MEJの主要事業のひとつである「四次元医療改革研究会」の議員に三輪会長が就任し、更なる連携強化も約束されています。



三輪芳弘会長

故近藤達也先生



中村安秀先生

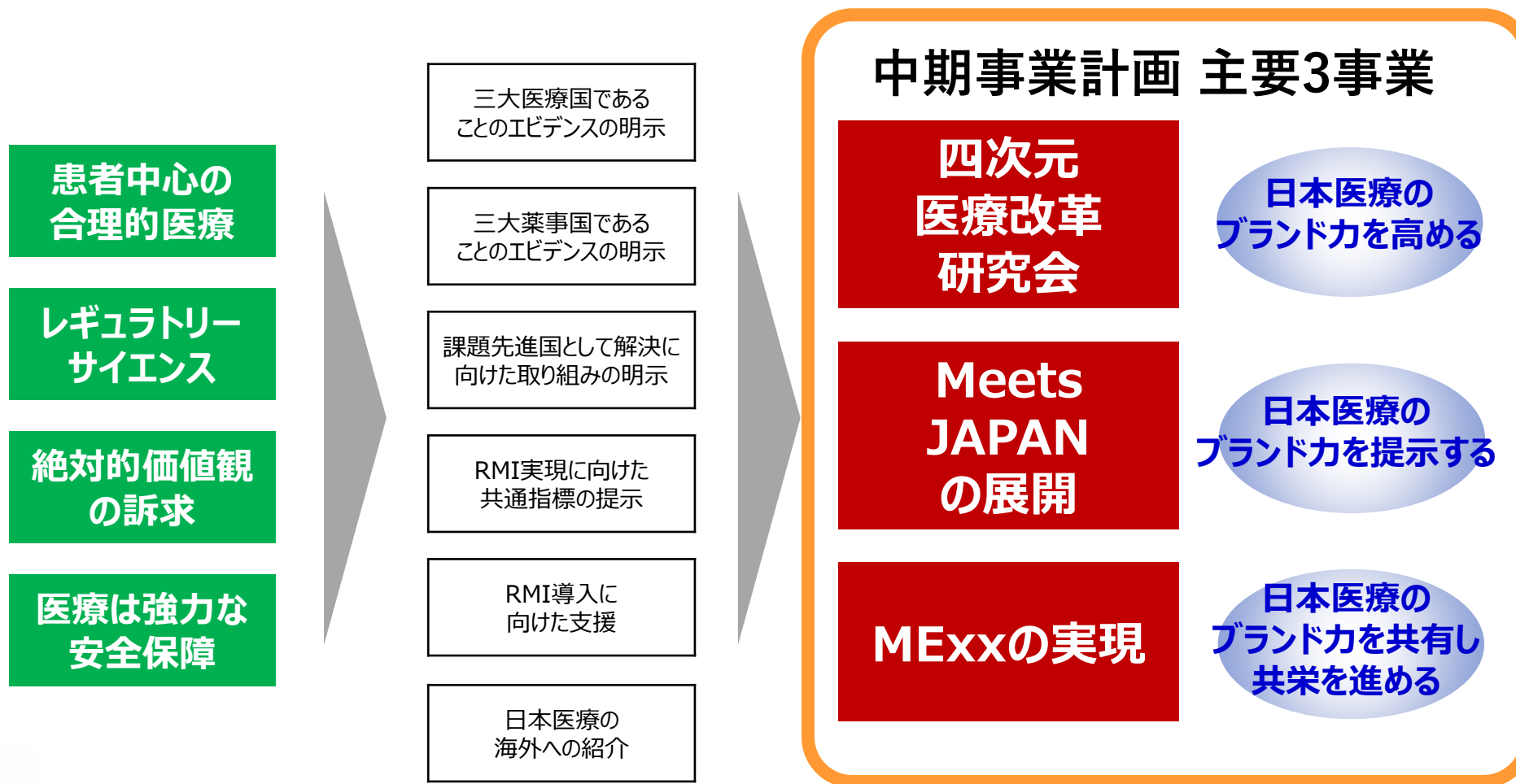
# MEJが進める医療の国際展開

## - 中期事業計画 主要3事業

The logo for Medical Excellence JAPAN features the text "Medical Excellence JAPAN" in a bold, sans-serif font. The word "JAPAN" is in a larger, bolder font. To the right of the text is a red circle with a white dot in the center, resembling a stylized Japanese flag or a medical symbol. The entire logo is set against a light blue background with a large, stylized white circle that has a blue outline and a green gradient fill.

# MEJが目指す世界 - 事業への変換

## 主要3事業に展開し、MEJの医療国際展開を推進します



※RMI = Rational Medicine Initiative







## 日本の叡智を結集し、日本の医療の課題のソリューションを打ち出す

### 【「四次元医療改革」について】

理想的な医療体制を目指す上で、現時点における問題点の国内中心（二次元）での考え方による解決は困難であることが明らかであり、医療の海外展開という考え方（三次元）無しには解決できないと考えます。それに加えて、理想的な姿を反映した「将来」という時間軸を取り入れた「四次元の医療改革」にMEJは取り組んでまいります。

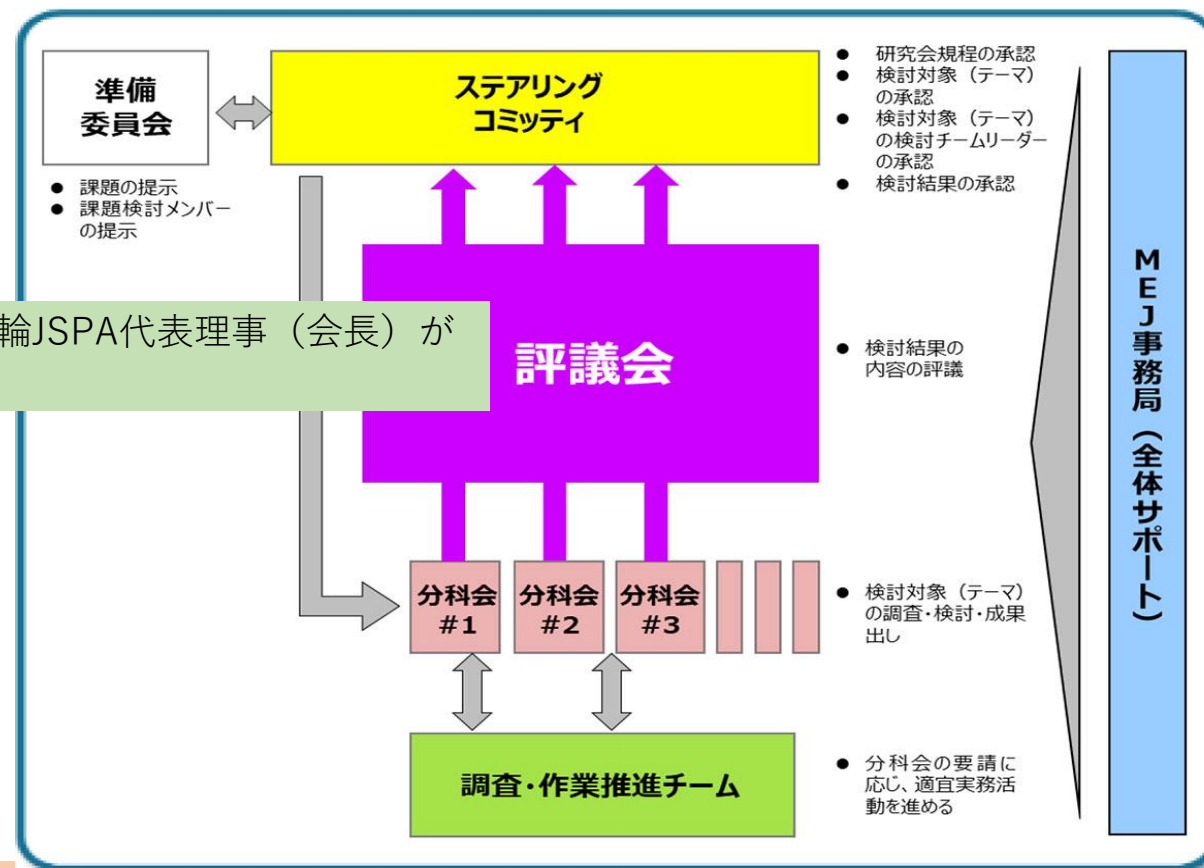
### 【本研究会の目的】

日本が世界に誇れる安全で先進性のある医療を提供し続けるための乗り越えるべき課題や問題点を、四次元医療改革の方針に沿って、課題解決に向けた協議を進めることを目的とします。  
また、本研究会は、レギュラトリーサイエンスの手法を用いてあらゆる面から課題を精査し、様々な視点から議論をすべく、外部の有識者を加えて構成されます。

### 第一課題「電子カルテシステムの改革」

### 【目指す成果】

- ① MEJ企業会員、フォーラム会員、医療関係者、産業界、教育・研究機関等の声を集約して日本政府に届け、「医療国際展開協議会」への改善策や医療の国際展開にかかる施策の計画等を共に作り実行することによる貢献
- ② 日本の医療においてあるべき姿を掲げ、医療に関わる各界への課題解決に向けた協力要請を行うこと。





# 四次元医療改革研究会 電子カルテ改革 – シンポジウム開催

<https://medicalexcellencejapan.org/jp/all/detail/430/>

2021年12月7日（火）、日経新聞社と共催で『日経SDGsフェス：健康・医療のデジタル改革に向けて MEJ四次元医療改革研究会 近藤達也先生追悼シンポジウム』をオンライン開催いたしました



本シンポジウムでは、コロナ禍で顕在化した医療デジタル化の現状と課題を明らかにした上で、本提言書をいかに社会実装していくかを政府、規制当局、産業界、医療界がともに議論し、加えて産業界からの期待を踏まえて、政府の医療政策にいかに反映させるかを協議いたしました。近藤達也先生の御遺志に賛同された講演者の皆様とともに、本提言の社会実装を目指し、オールジャパンで取り組んでいくことをお伝えする場として、開催いたしました。

## 開会挨拶・講演



笠貫 宏氏  
MEJ理事長

## 第一部「医療のデジタル化の現状と課題」



座長 國土典宏氏  
国立国際医療研究センター  
理事長



永井 良三氏  
自治医科大学 学長



渋谷 健司氏  
東京財団政策研究所  
研究主幹



今村 聡氏  
日本医師会 副会長

## 第三部 シンポジウム2「産業界からの医療のデジタル改革への期待」



座長 大石 佳能子氏  
メディア 代表取締役社長



三輪 芳弘氏  
日本セルフケア推進協議会  
代表理事（会長）



渡部 眞也氏  
日本医療機器産業連合会  
副会長

## 第二部 シンポジウム1「『電子カルテシステムの改革に向けた提言』と実装」



座長 藤原 康弘氏  
医薬品医療機器総合機構  
理事長



美代 賢吾氏  
国立国際医療研究センター  
医療情報基盤センター  
センター長



大坪 寛子氏  
厚生労働省 大臣官房審  
議官



岡田 安史氏  
日本製薬工業協会 会長



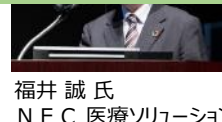
瀧口 登志夫氏  
保健医療福祉情報システム  
工業会 会長



相澤 孝夫氏  
日本病院会 会長



## 「健康医療情報が導く、生活者中心の健康サイクル」



福井 誠氏  
NEC 医療ソリューション  
事業部 上席事業主幹



石井 暢也氏  
中外製薬 プロジェクト・ライ  
フサイクルマネジメントユニット  
科学技術情報部長



松本 謙一氏  
サクラグローバルホールディング  
代表取締役会長

## 第四部 健康・医療DX推進にむけて



座長 武見 敬三氏  
参議院議員



加藤 勝信氏  
衆議院議員

## 閉会挨拶



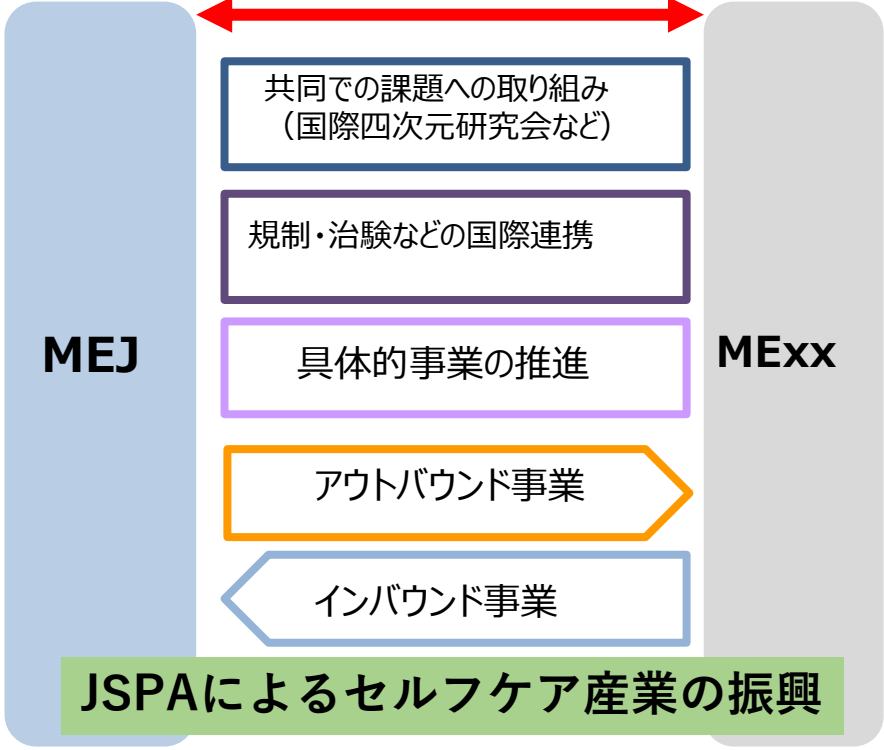
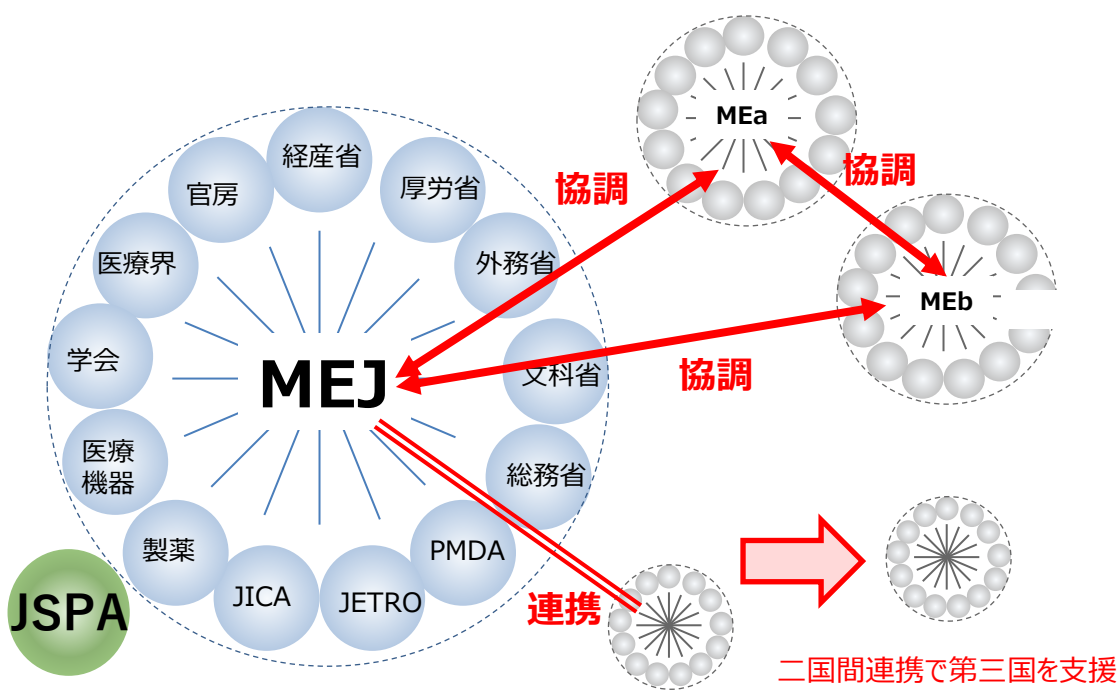
小松 研一氏  
MEJ副理事長

# MExx構想の推進～JSPA国際事業とのコラボレーション

国の外交政策とMEJの医療国際戦略の推進に基づいたハイブリッドな展開  
各国の医療改革のハブ同士間における医療の国際連携を促進

- ① 政府のエンドースを受けた産学医連携の医療国際展開の民間窓口
- ② 目指すのは『患者中心の合理的医療の実現』
- ③ 各国の医療の発展、産業の育成・成長を支援する組織
- ④ 対象国との医療の互惠関係を確立し、日本の医療の海外展開をサポート

- 日本国の外交政策に準拠  
インド、ベトナム、フィリピン、その他東南アジア諸国
- MEJの医療国際戦略  
中国、台湾、ボリビア、豪州、欧州、中央アジア



# JSPAの「国際展開におけた戦略的パートナーシップ」

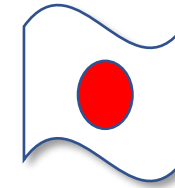
## WHO (1948～)

国際保健事業の指導的かつ調整機関としての活動  
保健事業の強化についての世界各国への技術協力  
感染症及びそのたの疾病の撲滅事業の推進  
医学情報の総合調整  
保健分野における研究の促進・指導  
生物学的製剤等の医薬品、食品に関する国際的基準の発展・向上  
健康関連SDGs目標に到達するために各国を支援



三輪芳弘代表理事（会長）

経産省：ヘルスケア産業推進  
内閣府「健康医療戦略」



公益社団法人 **日本 WHO 協会**

FRIENDS OF WHO JAPAN

(1965～)



中村安秀理事長

人材育成・啓発活動

「健康関連SDGsの目標達成を支援」



一般社団法人  
日本セルフケア推進協議会

**日本セルフケア  
推進協議会**

「日本型セルフケアの普及」

生活者中心にヘルスケア全体  
を考える

広報活動、ネットワーキング、アドボカシー活動

**Medical Excellence JAPAN (MEJ)**  
(2011～)

四次元医療改革研究会  
MExx構想、Meets JAPAN

「患者中心の合理的医療」  
「世界の医療への貢献」



笠貫宏理事長



2021年11月23日号

世界に貢献する日本人30

Newsweek  
ニュースウィーク日本版

世界に貢献する  
日本人30

## Special Report JAPANESE CHANGE AGENTS

### Yasuhide Nakamura

中村安秀 小児科医。日本WHO協会理事長。1986年に国際協力機構（JICA）からインドネシアに派遣された際、現地での診療を通じて母親と子供の医療情報を同時に把握できる日本の母子手帳の有効性を発見。現地向け試作版を88年に作成し、97年に同国政府が正式採用した。母子手帳は現在、アジアやアフリカの途上国を中心に50以上の国や地域で採用されている。

